

水ノ塔・箆ノ登山山行報告

【山行日】2022年 6月 9日(木) 曇り後晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 4,300円

【メンバー】CL:鈴木、 SL:廣瀬

大塚、石澤、嶋田

【コースタイム】岩舟支所 P5:00＝高峰温泉

P7:05/7:20～水ノ塔山 8:10/8:20～東箆ノ登山

9:20/9:30～兎平 10:00/10:10～見晴岳 10:50～

三方ヶ峰 11:10～池の平休憩広場 11:30/12:05～

兎平 12:30～高峰温泉P13:20/13:30＝

岩舟支所 P15:35



天気予報を見たら6月9日が晴れの予報なので、急遽平日山行で水ノ塔・箆ノ登山を計画した。4名の参加申し込みがあり、5名で岩舟支所を5時に出発する。北関東道から上信越道を走り、小諸ICで降りて高峰温泉駐車場に車を止める。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを済ませて出発する。天気は晴れの予報だが、ガスで視界があまり良くない中登山道に入っていく。雪で変形したカラマツを見ながら、クマザサの道を登るとうぐいす展望台に出る。展望は良くないが休憩し、衣服調整と水分補給を行う。時折薄日が差すと眼下に地蔵峠への林道が見えるが、直ぐにガスが掛かり見えなくなる。少し下って広い尾根を登ると、溶岩の広場に出て、溶岩が折り重なる中をペンキマーク目印に登っていく。ここを過ぎると急傾斜となり、岩場をよじ登るように進むと水ノ塔山山頂に出る。およそ山頂らしくない頂で、山頂標識が無ければ見過ごしてしまう。ガスで眺望は得られず、山頂標識前で記念写真を撮り東箆ノ登山へ向かう。ここからは尾根の北側を歩くようになるが、大きな岩や木の根を越えて行き歩きにくい。しばらく進むと視界が開け、赤ゾレと呼ばれる崩壊地の上を通っていく。稜線上の道を足元に注意しながら進み、いくつかピークを越えて行くと鞍部に出る。ここから針葉樹林の急斜面をひと登りすると、広い東箆ノ登山の山頂に着く。晴れていれば北アルプスの山並みや湯ノ丸山、烏帽子岳などが見られるが、あいにくのガスで眺望は得られない。

登山道に入っていく。雪で変形したカラマツを見ながら、クマザサの道を登るとうぐいす展望台に出る。展望は良くないが休憩し、衣服調整と水分補給を行う。時折薄日が差すと眼下に地蔵峠への林道が見えるが、直ぐにガスが掛かり見えなくなる。少し下って広い尾根を登ると、溶岩の広場に出て、溶岩が折り重なる中をペンキマーク目



山頂標識前で記念写真を撮り、菓子を食べたら兎平に向かって降りて行く。岩がゴロゴロした道を下って行き、樹林帯に入ると傾斜が緩くなって間もなく舗装道路に出る。駐車場入り口で「森林利用者協力金」を払い、トイレを利用させてもらう。



池の平入口の東屋で休憩し、果物や菓子をいただく。ここからは見晴歩道を緩やかに登って行き、「村界の丘」や「雷の丘」から池の平を見ながら爽快に登って行く。雲上の丘広場で休憩し、登って来た東麓ノ登山や湯ノ丸・烏帽子岳の眺望を楽しむ。時季が早くあまり花は見られないが、晴天に新緑の池の平や周囲の山々が美しくとても気持ちよい。「ピグミーの森」の先で三方見晴歩道に合わせ、右にほんの少し登ると見晴岳山頂に着

く。ここからの眺望も素晴らしく、ハケ岳や蓼科山を見ながら冷たいプリンをいただく。山頂から分岐まで戻り、直進すると見晴コマクサ園でコマクサは小さいが沢山咲いていた。皆さん今年初めてのコマクサの花に感動し、スマホに可憐な花を沢山収めていた。岩ハタザオの白い花とのコラボが気

に入ったようで、ゆっくり鑑賞しながら歩く。この先から池の平に下る計画だったが、時間が早いので三方ヶ峰まで足を延ばし三方コマクサ園を見ることにする。三方コマクサ園を見たら池の平らに下り、グリーン広場のベンチでランチタイムとする。今日は人数が少ないので焼きそばを用意し、お稲荷さんやパンをいただく。ところが我輩が焼きそばの皿を忘れ、皆さんが持参したタッパーの蓋やカップに盛り食べていただいた。ランチが済ん



だら池の平を木道で横断し、ゆるやかな坂道を登って兎平に戻る。トイレを済ませたら湯の丸高峰林道を歩き、高峰温泉まで50分の林道歩き。皆さんおしゃべりを楽しみながら歩き、予定よりも1時間早く高峰温泉に戻れた。靴を履き替えたなら車に乗り、往路を戻って帰路につく。

途中、上信越道横川 SA に寄って買い物し、計画より早く岩舟支所に帰着した。